

安産・家内繁栄の守り地蔵 四ツ家の地蔵さん

藩政時代 四ツ家惣門のあったこの地は
旧奥州街道における
盛岡の北の玄関口でした



『この地蔵尊は、四代盛岡藩主南部重信夫人於俊の方の菩提を弔うため、嫡子であった五代行信が元禄七年（一六九四）に茶毘跡（盛岡市名須川町・東禅寺の門前）に建立したもの。大智田中は於俊の方の戒名である「大智院殿心月妙院大姉」から大智を、火葬地の地名から田中をとって名付けられた。

現在地に遷座されたのは、大正元年（一九一三）十月一日。四ツ家町の有志が「町内に勧請して祭祀を行いたい」と旧藩主家の南部利淳氏に「御尊体御下付移転の儀」を願い、承諾されたことによる。遷座式は翌二年五月二十八日。以来、安産や家内繁栄の守り地蔵として信奉されてきた。「田中の地蔵さん」「四ツ家の地蔵さん」の愛称で親しまれている。台座は上下二段、像は花崗石の巨石を丸彫りにしたもので像高一五八・〇センチ。』

盛岡市教育委員会説明板より

